

## 第1学年2組 生活科学学習指導案

1. 日時 平成27年9月16日(水) 13:40~14:25
2. 場所 1年2組 教室
3. 単元名 『なかよく なろうね 小さな ともだち』
4. 単元目標 身近な生き物に関心を持ち、進んでふれ合ったり、自分自身で世話の仕方を調べたり世話をしたりして、その生態や変化、成長に気付くとともに、生き物も自分たちと同じように生命をもっていることや生き物の命を大切に感じ、親しみをもって世話をすることができるようにする。

### 5. 単元の評価規準 【内容(7) 動植物の飼育・栽培】

	ア 生活への 関心・意欲・態度	イ 活動や体験についての 思考・表現	ウ 身近な環境や 自分についての気付き
単 元 の 評 価 規 準	モルモットとふれ合ったり、飼育したりして、その生態や変化、成長に関心を持ち、モルモットに親しんだり大切にしたりしようとしている。	モルモットを飼うことについて、自分なりに考えたり、工夫したり、振り返ったりして、それを素直に表現している。	モルモットは生命をもっていることや成長していること、モルモットと自分とのかかわりに気付いている。
学 習 活 動 に お け る 具 体 の 	1 ①新しい仲間、モルモットにさわってみたい、お世話をしてみたいなど、関心をもってかかわろうとしている。		
	2 ②モルモットの育つ場所や変化や成長の様子などに関心をもって、進んで世話をしようとしている。	①モルモットの気持ちを考えたふれ合い方を考えたり、飼育の仕方を考えたりしている。 ②モルモットとふれ合ったり、世話をしたりしながら、その生態などについて気付いたことや楽しさを自分なりの方法で表現している。	①モルモットとのふれ合いを通し生態を知ること、私たちと同じように生命をもっていることに気付いている。
	3 ③世話をしてきたモルモットとの関わりを振り返り、その様子を進んで伝えようとしている。	③モルモットの気持ちを考えて、モルモットの様子や工夫した世話の仕方について振り返り、自分なりの方法で表現している。	②モルモットへの親しみが増し、モルモットの気持ちを考えて世話を工夫することができるようになったことに気付いている。

## 6. 単元について

### (1) 地域の実態と子どもの姿

本校は、海沿いの工業地域に隣接し、産業道路や高速道路がすぐ近くを通っている。工業地域のすぐ近くでありながらよく整備された公園がいくつも在り、子どもたちは公園でよく遊んでいる。地形は平坦で、昔は田園地域であった名残から、直角に区画されている。

子どもたちは、すっかり学校生活に慣れ、明るく元気いっぱいに過ごしている。素直で子どもらしく、周りの人やものに親しみをもってかかわろうとする子どもが多い。また、学習活動にも意欲的に取り組んでおり、新しいことを学習することを楽しんでいる。一方、友達とのかかわりは薄く、一緒に遊んでいるように見えても並行遊びがほとんどである。教師が遊びを仕組んだときには、集団遊びが成立する。初夏に公園で鬼ごっこや長縄跳びをしたときには、「友達と遊んで楽しかった」という感想がたくさん出た。かかわりをもちたいとは思っているが、自己中心的になりがちで自分からかかわることは、まだできずにいる子どもたちである。

生活科では、5月からアサガオの栽培に継続的に取り組んできた。自分が育てているアサガオを毎日見て、よりよい環境で成長するように考え、話し合っ活動て工夫してきた。6月には学校たんけんでプールを見に行った。プールの中には水生生物がいる話をすると、そのまま流されてしまうのがかわいそうだという話になった。そこで、プールの中のヤゴを採取し教室で飼育を始めた。ヤゴの様子を観察し、トンボになるのを見守ってきた。また、教室で飼育している金魚にも興味をもっている。餌やりは多くの子どもがやりたいということで、当番活動にしている。

小動物に関しては、校庭探検や校庭遊びで飼育小屋のウサギと出会い、高学年の児童が世話をしている場面に接して「さわってみたい」という思いがふくらんできている。

### (2) 単元設定の理由

これまで飼育小屋で飼育しているものは、ウサギを1羽のみであったので、子どもがこのウサギにふれ合うのは、飼育委員会が行う「ふれ合い会」だけであった。「ふれ合い会」も子どもが十分に満足できるほどではなかった。また、動物園への遠足時のふれ合いもあったが、動物の飼育の単元としては不十分な活動であった。そこで、継続的な栽培活動と生き物の変化の面白さを知った子どもたちに、温かく命をより感じられるモルモットの飼育を体験させたいと考えた。今回、飼育動物としてモルモットを選んだのは、一年生の手にやや余る大きさ、抱き上げた時の温かさ、飼育の善し悪しで行動や反応が変わり見てわかりやすいことなどの理由からである。モルモットを継続的に飼育する活動によって、身のまわりの多くの生き物たちが、自分たち人間と同じように生きていることに気付き、多くの生き物たちの命を大切にす心情をもてるようにしたい。

また、クラスでモルモットを飼育していく中で、自分の行いを見つめ直し仲間と協力することの大切さにも気付いていってほしい。生き物を飼育していく中では、分からないことが生まれたり、思い通りにならないことが起きたりしてくるものである。それを解決するための必然性のある話し合いの機会を大切にしたい。その中で交流したり協力したりする姿勢も身につけさせていきたいと考えている。かかわりを深めることで、日常の活動や遊びの中でも友達を意識して活動ができるように育てていきたい。

動物アレルギーをもつ児童に対する配慮として、飼育は教室外で行うものとする。また、子どもにモルモットの動物アレルギーがあるかどうか、事前に調査をして、学習時にも配慮ができるようにする。

## 7. テーマとのかかわり

### (1) 一人一人の子どもが思いや願いをもち、夢中になって取り組む学習活動

#### ○子どもの思いがふくらむ出会いの工夫

対象との出会いは学習活動の動機に大きく影響すると考えている。休み時間に、日頃覗いている飼育小屋に今までいなかった小さな生き物がいることに自然に気付くようにしていく。学習時間でもふれ合う時間を確保するが、休み時間や下校前にも繰り返しふれ合うことで愛着を育めるようにする。そして、愛着をもちはじめた頃に、校長先生から「アサガオをちゃんと育てた一年生にモルモットともっと仲良くなってもらえないかな」と告げられる。これによって、これまでのアサガオの栽培活動での努力を評価されるとともに、自信をもってモルモットの世話に向かえるようにしたい。

○興味が続くような対象との距離

世話の仕方に慣れるまでは、モルモットを教室の近くに置くようにする。それによって日常的にふれ合いや観察を十分にできるようになる。そして、ちょっとした変化もすぐに確認することができる。モルモットとのかかわりが深まり、かわいいという思いが高まった子どもたちの気持ちを表現で結び付けていくようにする。毎日モルモットニュースの発表に取り組み、友達の発表を聞くことで自分がこれまで気付かなかった生息態を知ることができるようにし、改めてモルモットを見る視点をもてるようにしていく。

○専門家の話を聞く

飼育に興味をもって取り組んでいくことができるように、家でモルモットを飼育している保護者や、獣医師に話を聞く場を設定する。正しい知識を得ることで、自信をもったりプロ意識をもったりしてモルモットにかかわれるようにしていく。

(2) かかわることの楽しさが分かり、自分の思いや気づいたことを進んで伝えようとする学習活動

○これまでの学び方の活用

本単元の前の学習であるアサガオの栽培では、植物の命に接し学習を進めてきた。毎日見ることで変化を見つける。発見したことを友達と伝え合う。困ったことはみんなと相談しながら学習を進めるなど、アサガオの学習で行った体験と表現という学び方を想起し、モルモットの生命についてより意識できるようにする。

○気付きを伝え合える時間の保障

常時活動として朝の会で取り組んできたアサガオニュースに引き続き、当番の子やふれ合った子を中心にモルモットニュースに取り組むようにする。言葉で伝え合う時間を設け、思いを表わす言葉を増やすことで伝え合う力を高めていくようにする。また、記録したカードなどはいつでも見ることができる場所に掲示する。

○多様な表現方法

モルモットの様子を表現する場合、絵にかく、文で表す（作文・手紙など）、モルモットの動作を真似る、話して伝えるなど、さまざまな表現方法が考えられる。自己の振り返り、友達との伝え合い、クラス以外の人たちへ発表するなど、学習発表会も視野に入れ、伝えたいこと、伝える相手を考え表現方法を選べるようにする。また、誰に伝えたいのかという相手意識をはっきりともたせることで、表現活動に必然性をもたせていく。クラス以外の伝えたい相手は、保護者の他に、繰り返し関わってきた2年生のペアの友達、いつも遊んでもらっている6年生などが考えられる。

8. 指導と評価の計画（12時間）

小単元名 (時数)	主な学習活動と子どもの姿	○支援 ★評価規準 【評価方法】
<p>1 なかよくなろう</p> <p>1・2 + 常時活動</p>	<p>きっかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育小屋にウサギじゃない生き物を見つけたよ。</li> <li>・さわってみたいな。</li> </ul>	
	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">モルモットにふれ合ったり餌をやったりすることで、命を感じ取り、関心をもって接することができる。</p> <p>○モルモットと出会い、モルモットのふれ合いたいという思いをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モルモットにさわってみたいな。</li> <li>・抱っこしてみたいな。</li> <li>・ふわふわだね。</li> <li>・目がかわいいよ。</li> <li>・すごく小さいね。</li> <li>・いろいろな色の毛だね。</li> <li>・お世話をしたいな。</li> <li>・楽しみだよ。</li> <li>・かまないかな。</li> </ul> <p>○生き物と遊ぶときに気をつけることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優しく触るといいね。</li> <li>・座って抱いた方がいいと思うよ。</li> <li>・餌をあげたいね。何を食べるのかな。</li> <li>・当番を決めてみんなでお世話をしたいね。</li> <li>・お部屋をきれいにしたいよ。</li> <li>・抱き方がわからないから、だれか知らないかな。</li> <li>・飼育委員の6年生なら分かるかな。</li> </ul>	<p>○近くで見られるように、小型ゲージに入れ活動場所に連れてくる。</p> <p>○思いを十分に引き出すように声かけをする。</p> <p>○「よく見る」ための視点として、これまで学校で飼育していたウサギの「ゆき」との違いを設定する。</p> <p>★新しい仲間、モルモットにさわってみたい、お世話をしてみたいなど、関心をもってかわろうとしている。</p> <p>【発言・行動観察】アー①</p> <p>○さわり方について、モルモットが嫌がらない方法を考えるように声をかける。</p> <p>○モルモットの気持ちを考えるように声をかける。</p> <p>○カードにかく時には、モルモットを身近に置き、見ながら書けるようにする。</p> <p>○さわりたくない児童に無理強いはしない。</p>

モルモットにふれ合ったり、世話をしたりすることで、自分と同じように生きていることに気付くとともに、生命を大切にすることができる。

2 も つ と な か よ く な ら う	3 (本 時)	<p>○自分たちでできるモルモットともっと仲良くなる方法を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名前と呼んであげたい。</li> <li>・掃除をしてあげたいな。</li> <li>・きれいなお部屋がきもちいいよ。</li> <li>・分からないことがたくさんあるよ。</li> <li>・誰に聞いたら、分かるかな。</li> </ul>	<p>○子どもの思いに沿って活動を入れ替えることができるようにする。</p> <p>○校長先生にもっと仲良くなってほしいという願いを伝えられることで活動に対する意欲をもてるようにする。</p> <p>★モルモットの気持ちを考えたふれ合い方を考えたり、飼育の仕方を考えたりしている。</p> <p>【行動観察・観察カード】イー①</p> <p>○本で調べられるように教室にモルモットに関する本を用意しておく。</p> <p>★モルモットとのふれ合いを通し、生態を知ることによって、私たちと同じように生命をもっていることに気付いている。</p> <p>【行動観察・観察カード・発言】ウー①</p> <p>○毎日継続して世話ができるように、当番を決め、全員がふれ合えるようにする。</p> <p>○動物を怖がる子やアレルギーをもつこのために、ビニル手袋やマスクを用意する。</p> <p>○動物に触れた後は手洗いうがいをするように声をかける。</p> <p>○ふれ合いの中で困っていることを整理し、獣医さんが来た時に質問できるようにしておく。</p> <p>★モルモットの育つ場所や変化や成長の様子などに関心をもって、進んで世話をしようとしている。【発言・行動】アー②</p> <p>○名前をつけるために、モルモットの様子や特徴を改めて観察できるように、モルモットのゲージを教室近くに置く。</p>
	4	<p>○世話の仕方を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本にのっていたよ。</li> <li>・お母さんが小さいころ飼っていたって言うていたよ。</li> <li>・6年生に聞いてみたよ。</li> </ul>	<p>○かきためたカードを見たり、モルモットニュースを振り返ったりすることで、これまでの活動を思い出せるようにする。</p> <p>○モルモットニュースを振り返ることができるように、メモを残したり写真を撮っておいたりして、見ることができるようにする。</p> <p>★モルモットとふれ合ったり、世話をしたりしながら、その生態などについて気付いたことや楽しさを自分なりの方法で表現している。【発言・カード】イー②</p>
	5	<p>○モルモットが食べるものを調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜はなんでも食べるのかな。</li> <li>・ヒマワリの種はたべるかな。</li> </ul>	
	6	<p>○モルモットの飼育の仕方について獣医さんに話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モルモットはひまわりの種は食べないんだって。</li> <li>・言われたようにすると上手に抱けそうだな。</li> </ul>	
	7	<p>○モルモットに名前をつけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒い顔をしているからクロちゃんがいいかな。</li> <li>・ふわふわな様子が分かる名前にしたい。</li> </ul>	
	8 十 常 時 活 動	<p>○モルモットのお世話を振り返ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっとくさいと思っていたけど、くさくなかった。</li> <li>・毛がふわふわでかわいいね。</li> <li>・食べるときに口がもぐもぐ動くよ。</li> </ul>	

3 モルモットのようすをしらせよう		<p>モルモットにふれ合ったり、世話をしたことについて、自分なりに考えたり工夫したり、振り返ったりして、知ったことや気づいたことを身近な人たちに伝える。</p>	
	9	<p>○モルモットの世話をしたときの様子について思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耳をぴくぴく動かすところがかわいい。</li> <li>・ペレットもよく食べるけど野菜を食べる時がかわいかった。</li> <li>・上手に抱くことができるようになったな。</li> </ul>	<p>★世話をしてきたモルモットとの関わりを振り返り、その様子を進んで伝えようとしている。【発言・作品】アー③</p> <p>○これまで書きためたカードや活動の様子の写真などを掲示しておく。</p>
	10 11	<p>○モルモットの世話の仕方や、様子を自分の考えた方法で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モルモットのまねをしてみよう。</li> <li>・お話を作りたいな。</li> <li>・粘土で作ってみたいな。</li> <li>・お世話の仕方の本を作ろう。</li> <li>・紙芝居で教えよう。</li> </ul>	<p>○保護者に知らせる場（学習発表会）を設定する。</p> <p>○これまでお世話になってきた上級生に知らせることもできるようにする。</p> <p>★モルモットの気持ちを考えて、モルモットの様子や工夫した世話の仕方について振り返り、自分なりの方法で表現している。 【行動観察・観察カード・発言】イー③</p>
12	<p>○活動を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のお世話は大変だったけど楽しかったね。</li> <li>・このままお世話を続けたいな。</li> <li>・モルモットもぼくと同じように生きているんだね。</li> </ul>	<p>○自分の変化を感じられるように、校長先生のビデオレターを見直したり、学習発表会の様子を見たりできるようにしておく。</p> <p>★モルモットへの親しみが増し、モルモットの気持ちを考えて世話を工夫することができるようになったことに気付いている。 【発言・カード】ウー③</p>	

9. 本時について (3/12)

(1) 目標 モルモットの気持ちを考えたふれ合い方を考えたり、飼育の仕方を考えたりしている。

(2) 展開

主な学習活動	○支援★評価規準【評価方法】
<p>1. モルモットの様子を思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしく抱くとじっとしているよ。</li> <li>・ウンチをたくさんしていたよ。</li> <li>・毛がふわふわでかわいい。</li> </ul> <p>2. 校長先生からのビデオレターを見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと仲良くなってどうすればいいのかな。</li> <li>・いっぱい触れるのかな。</li> </ul>	<p>○モルモットのかわいらしさや生態について、気付いていることを引き出すようにする。</p> <p>○モルモットの様子がよく見えるよう、TVに映す。</p> <p>○抱き方を説明したり実際にやって見せたりする。</p> <p>○モルモットとふれ合ったときのつぶやきを想起させたり、写真を提示したりする。</p> <p>○校長先生に仲良くなってほしいと頼まれることで活動に対する意欲をもてるようにする。</p>
<p>どうやったら もっと なかよく なれるかな。</p>	
<p>3. モルモットと仲良くなる方法を考え話し合う。</p> <p><b>食べ物</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・餌をちゃんとやることだね。</li> <li>・食べすぎはよくないよ、どれくらい餌をあげるといいかな。</li> </ul> <p><b>遊び</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊んであげよう。</li> <li>・おもちゃを用意しよう。</li> </ul> <p><b>住まい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隠れるところを作ってあげたい。</li> <li>・部屋をきれいにしたいよ。</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日見るといいね。</li> <li>・名前でごんごんであげたいね。</li> </ul> <p><b>心配なこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギーがあるからさわれない。</li> <li>・触りたいけど、かまないかな。</li> <li>・分からないことがいっぱいあるね。</li> </ul> <p>4. 振り返りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日みてあげたい。</li> <li>・家から野菜をもってきたい。</li> <li>・毎日お部屋をきれいにしてあげたい。</li> <li>・手袋をしてならできそう。</li> <li>・こわくてさわれなかったけど、友達が抱いていたらさわれそう。</li> <li>・よく見るとかわいい。</li> <li>・手袋をしてなら、部屋の掃除ができそうだな。</li> </ul>	<p>○モルモットに喜んでもらうには、モルモットのことを考えなければならぬことを気づけるように声をかける。</p> <p>○一人一人が仲良くなる方法について考える時間をとる。</p> <p>○優しくふれ合うために、命があることを意識できるように話す。</p> <p>○仲良くなる方法をカテゴリーに分け、整理して板書する。</p> <p>○できたことや心配なことをたくさん話させることで今後のふれ合いの改善につなげられるようにする。</p> <p>○ふれ合う時に使えるように手袋やマスクを用意しておく。</p> <p>○モルモットにしてあげたいことをかけるカードを用意する。</p> <p>○書いたことを交流することで、今後の意欲を高めるようにする。</p> <p>★モルモットの気持ちを考えたふれ合い方を考えたり、飼育の仕方を考えたりしている。</p> <p>【行動観察・カード】イー①</p>

平成27年度 生活年間指導計画

学期	月	第1学年（総時数 102時間）		1・2年生 の交流	第2学年（総時数 105時間）				
		単元名			単元名				
前期	4	わくわく ときどき しょうがっこう①⑥(15 時間) ・なかよくしようね ・学校たんけんをしよう ・2年生と探検しよう ・1年生で探検しよう ・学校の周りをおいて みよう	きれいにさい てわたしのはな⑦ (15時 間) ・あさ がおの たねを まこう	なかよく しようね	わくわくするね①⑧ (10時間) ・なかよくしようね① ・学校たんけん ・あさがおレクチャー ・なかよくしようね②	めいせい(8)⑧( )	なかがな( )⑧( )⑧( )⑧( )⑧( )⑧( )		
	5	はるをみつけにいこう ④⑥ (2時間) ・公園で遊ぼう なつともだちになろう ④⑥ (8時間) ・公園で遊ぼう ・なつと遊ぼう ・砂や土で遊ぼう		学校 たんけん	まちがだいすき たんけんたい③④⑤ (14時間) ・町をたんけんしよう ・少しとおい所に行ってみよう ・発見したこと、お知らせしま す! ・おいしい手紙をとどけよう。				
	6	あきともだちになろう ⑤⑥ (10時間) ・校庭の秋を見つけたよ ・集めた秋で遊ぼう ・校庭の秋を見つけよう ・作ったよ遊ぼうよ ・これでも、作ったよ、 遊ぼうよ		あさがお レクチャー	えがおのひみつたんけんたい ③④⑤⑧⑨ (15時間) ・発見したことをまとめよう ・町はかわっているのかな ・秋の町たんけんに出かけよう ・「秋の町たんけん」発表会			めいせい(8)⑧( )⑧( )⑧( )⑧( )⑧( )	
	7	かぞくにくにこ 大きくせん ②※⑧⑨ (11時間) ・たのしいよ私の家 ・やってみよう ・できるようになったよ ・大ずき家の家族		たてわり班					夏休み作品展 の鑑賞  1・2年生取 り モルモットの 飼育レクチャ ー
	9	ふゆともだちに なろう⑤⑥ (15時間) ・外で遊ぼう ・お正月の遊びをしよう ・昔の遊びを教わろう ・もっと遊ぼう		なかがな( )⑧( )⑧( )⑧( )⑧( )⑧( )					
10	もうすぐ2年生⑧⑨ (14時間) ・新一年生が来るよ ・教えてあげよう学校の こと ・1年間を振り返ろう ・新入生をむかえる準備 をしよう	きれいにさい たよ	交流給食	冬とあそぼう ⑤⑥ (3時間) ・1年生に昔の遊 びを教える					
後期	11	あしたヘダッシュ②⑧⑨ (18時間) ・小さかったんだね ・こんなに大きくなったよ ・自分の物語をまとめよう ・進級だよ、うれしいね ・1年生とお別れ会をしよう	書き初め 展の感想 交流	つくってためして⑥ (14時間) ・どんなおもちゃをつくろうかな ・身近な材料をもつてこよう ・どうやったら動くかな ・遊んでみよう		めいせい(8)⑧( )			
12	1	2	3						

※生活科の内容…①学校 ②家庭 ③地域 ④公共 ⑤季節 ⑥遊び ⑦飼育・栽培 ⑧交流 ⑨自分  
※内容の(8)は、評価規準表には、入っていない単元においても、常に視野に入れて指導する。